

第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立 岬高等 学校
校長名	中村 公一

開催日時	令和5年1月26日(木)
開催場所	大阪府立岬高等学校 会議室
出席者(委員)	保井太郎 会長、島崎英夫 副会長、田中繁樹 委員、尾保手崇 委員、齋藤緑 委員
出席者(学校)	中村公一 校長、小幡和子 事務長、中原浩育 教頭、橋本公貴 教頭 首席2名、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、保健主事、教育相談委員長、パス ファインダー・通級主担当、山海人プロジェクト主任、学年主任3名、初任者2名
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度大阪府立岬高等学校第3回学校運営協議会実施要項
備考	

議題等(次第順)

【はじめに】	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校長挨拶 ② 学校運営協議会参加者名簿
【連絡及び報告】	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度学校経営計画及び評価について ② 各部の事業報告の確認 ③ 令和4年度学校教育自己診断集計結果
【協議事項】	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度学校経営計画(案)について ② 岬町各団体訪問について(保井会長より)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

【はじめに】	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校長挨拶 ② 学校運営協議会参加者名簿
【連絡及び報告】	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和4年度学校経営計画及び評価について ・引き続き寄り添い粘り強い教育をしていきたい ・生徒指導の在り方も含め、指導のポイントを再検討していく ・4つのコースで新たな取組み ・新たな取組みとして自己探求の授業にて作物を育てるところから収穫、調理までのプロセスを体験 ・広報誌への掲載(岬町広報、こころBOOK2023) ・海外異文化交流としてサウジアラビア ジッタ日本人学校との交流授業をオンラインにて実施 ・本校生徒のクラブ員が地方鉄道交流会への参加やスポGOMI甲子園への出場、地元ローカルテレビに出演等校外での活動を行った ・通級指導教室の成果の共有と発信として、随時見学受け入れと泉南地区支援教育研究会への学校説明会を実施
② 各部の事業報告の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導部 <就職> ・就職1次試験の内定率が年々厳しくなっている 38期76.7% 39期78% 40期66.1% 41期68.4% 42期65.9% ・求人数が昨年461に対し本年が409と減少している <進学> ・専門学校への進学が多い ・本年は動物関係、ゲーム関係を希望する生徒が多かった。

○山海人委員会

・10月14日(金)に実施

1年: 里海公園での清掃活動

2年: 府道 和歌山阪南線(1日 26号線) 治いの道路清掃、およびパンジーの植栽活動

3年: 長松海岸周辺の清掃活動及びみさき公園遊歩道内の清掃活動

・コロナウイルス感染症対策の観点から本校の生徒と教員のみで実施

・課題は参加率(参加の意義を事前指導で行っていききたい)

○系列における体験的な活動

・立地を活かした体験的な学習活動を行っている

アクティブIT: 和歌山大学のサークルと連携し生徒たちが共に活動することで交流を深める

マリンアドベンチャー: 竹と浮体を使用して自分たちでいかだを製作し実際に海に出る

ソーシャルケア: 車いすの名称や操作方法を学び、実際に学校から道の駅までの実体験

ワールドトラベラー: 和歌山大学の留学生との交流、関西空港にて旅行者との交流

③ 令和4年度学校教育自己診断集計結果

<生徒用>

・“学校に行くのが楽しい”の項目では昨年度60.8%に対し、本年は71.6%と10ポイント以上肯定的意見が増えた

<保護者用>

・“子どもは岬高校へ行くのを楽しみにしている”の項目では昨年度66.2%に対し、本年は74.5%と8.3ポイント肯定的意見が増えた。

・3年ぶりにPTAのスポーツ大会を実施することができたが、アンケート実施後の開催であったので、学校行事参加に関する数値は低かった

【協議事項】

① 中村校長より令和5年度学校経営計画(案)について

<変更点>

めざす学校像、中核的目標-2(2)ウ、本年度の取組内容及び自己評価-2(3)ウ・エ

・多様な教育実践校として始まるが、現在取り組んでいることを中心にレベルアップしていきあたいたいと考えている。地域や保護者の方にも協力してもらいたい。

② 保井会長より岬町各団体訪問について

・多様な教育実践校として地域連携を今以上に行っていく必要がある。

・地域団体に岬高校を良く知ってもらうことで協力を依頼したい

<質疑応答>

Q.西成高校の入学者数があがっているのはなぜだと考えているか

A.1時間目をやめることにより朝が苦手な生徒も通いやすくなった。この改革により、欠席者が減ったと聞いている。岬高校も思い切った改革が必要である。

Q.現在の男女比はどれくらいか

A.3:2もしくは2:1で男子の方が多い。

Q.どんなことをして地域の期待に応えていくのか。

A.R5年度から相担制度導入により、生徒に寄り添い、生徒が楽しいと思える学校にしていきたい。また、地域創生にも力を入れていく。

<委員よりいただいたご意見>

・前年度よりも全体的に肯定的意見が増えている。これからも頑張ってもらいたい

・退学防ぐ、学校で取り組んでいる内容 魅力づくり頑張ってもらいたい

・子どもたちの自己肯定感が下がることが問題。弱みと思っている部分が見方を替えると強みであることに気付いてほしい

・安心メールの活用をもっと行ってほしい。月1でも良いので時間割の連絡などを配信してほしい。

・withコロナになっていくと思うので、PTA活動を活発にしていきたい

委員の皆様から、貴重なご意見やアイデアをたくさんいただきました。ありがとうございました。

次回の会議日程

日時	令和5年5月26日(金)15:00~
会場	大阪府立岬高等学校 会議室